米原市醒井宿資料館



2019.9.23 (Mon) - 10.6 (Sun)

OPEN 9:00-17:00 (最終入場 - 16:30 月曜日休館(※月曜日が休日の場合は、翌日休館)) PLACE 米原市醒井宿資料館 EVENT 棒立ちのライブツアー 第一回 9.29(Sun) 14:00 - 15:00 第二回 10.6 (Sun) 14:00 - 15:00 THANKS 醒井区米原市教育委員会

「飾る」と「展示」 どう違う?

大槻拓矢

(おおつき・たくや)

岡本秀

(おかもと・しゅう)

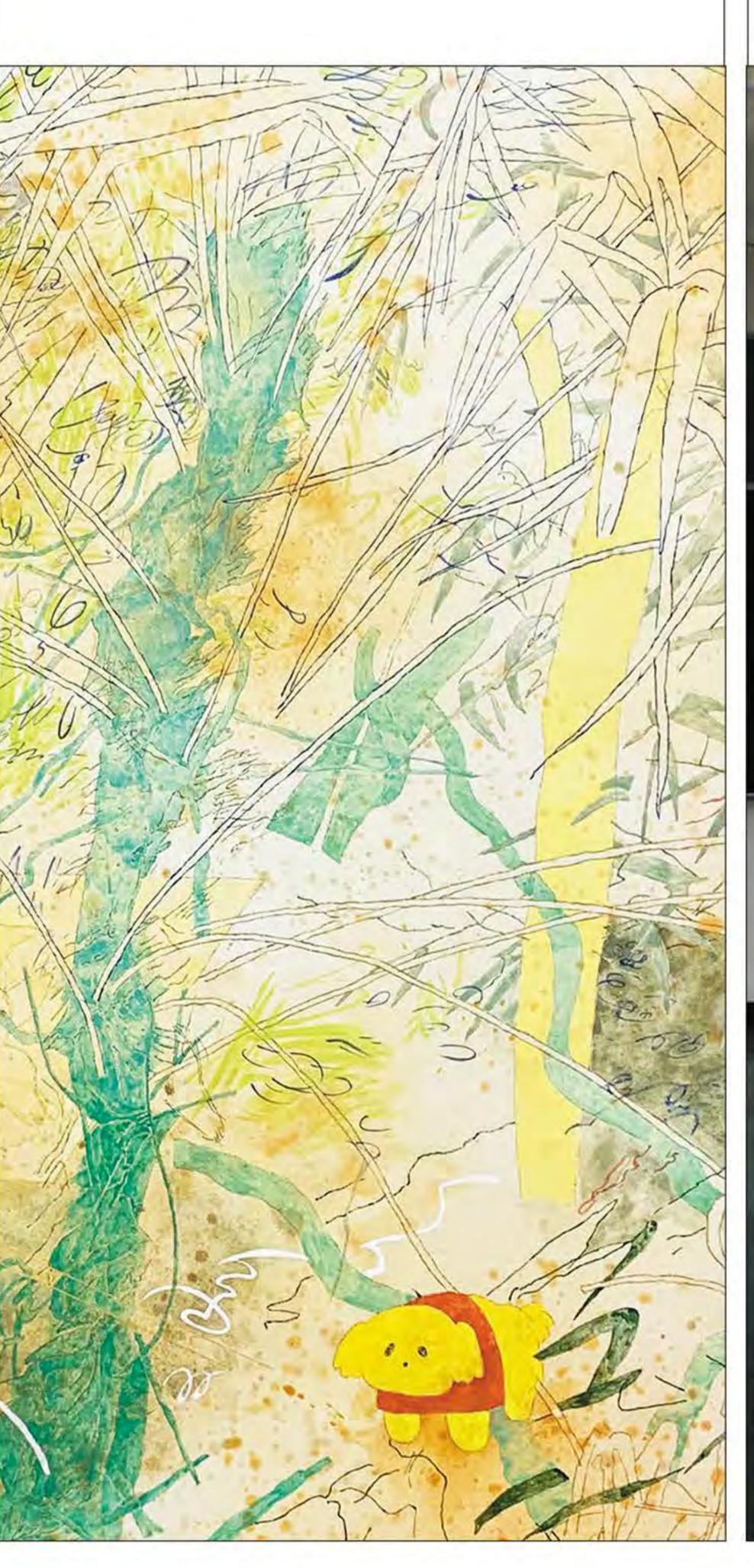
北浦雄大

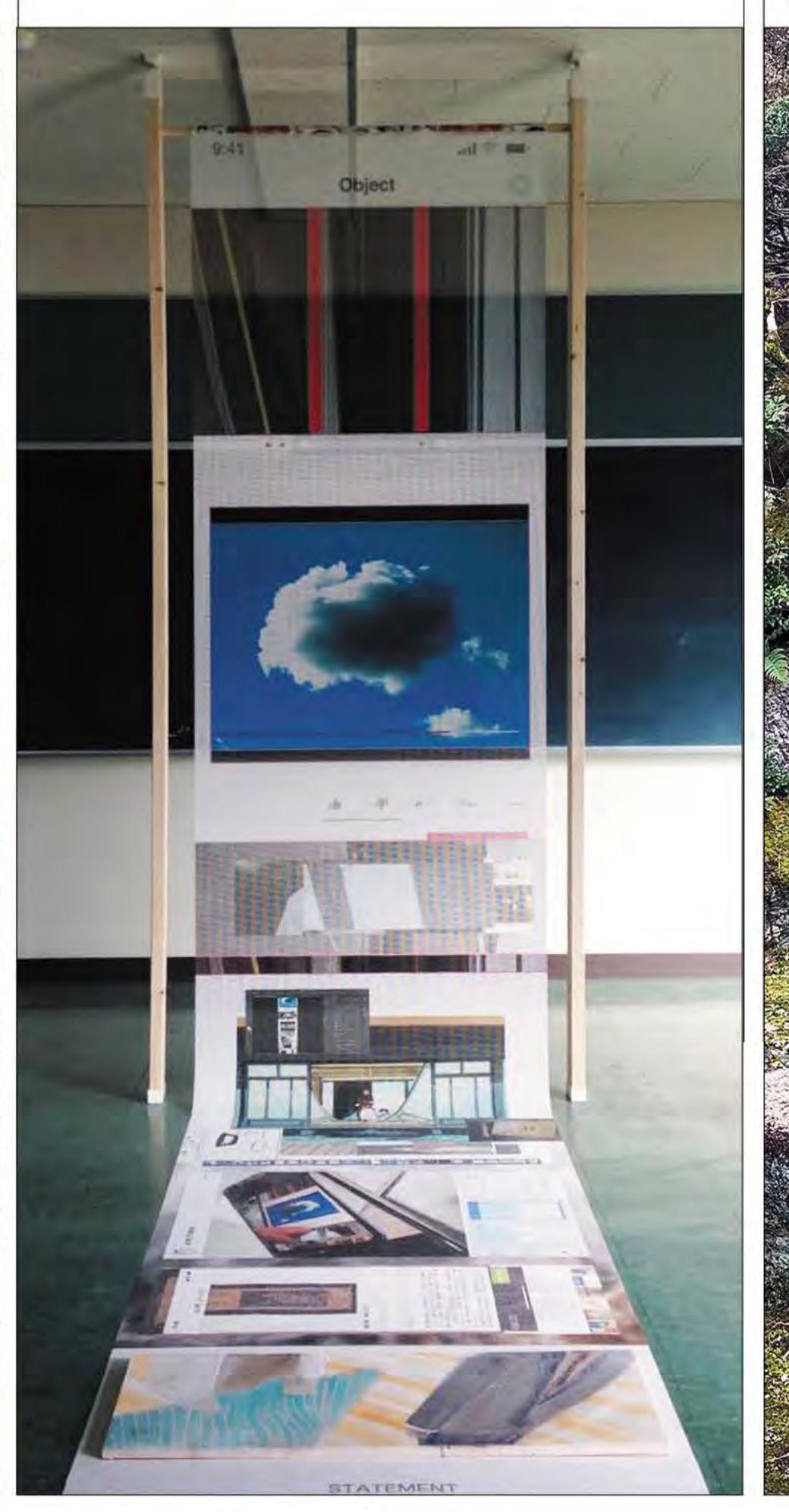
(きたうら・ゆうだい)

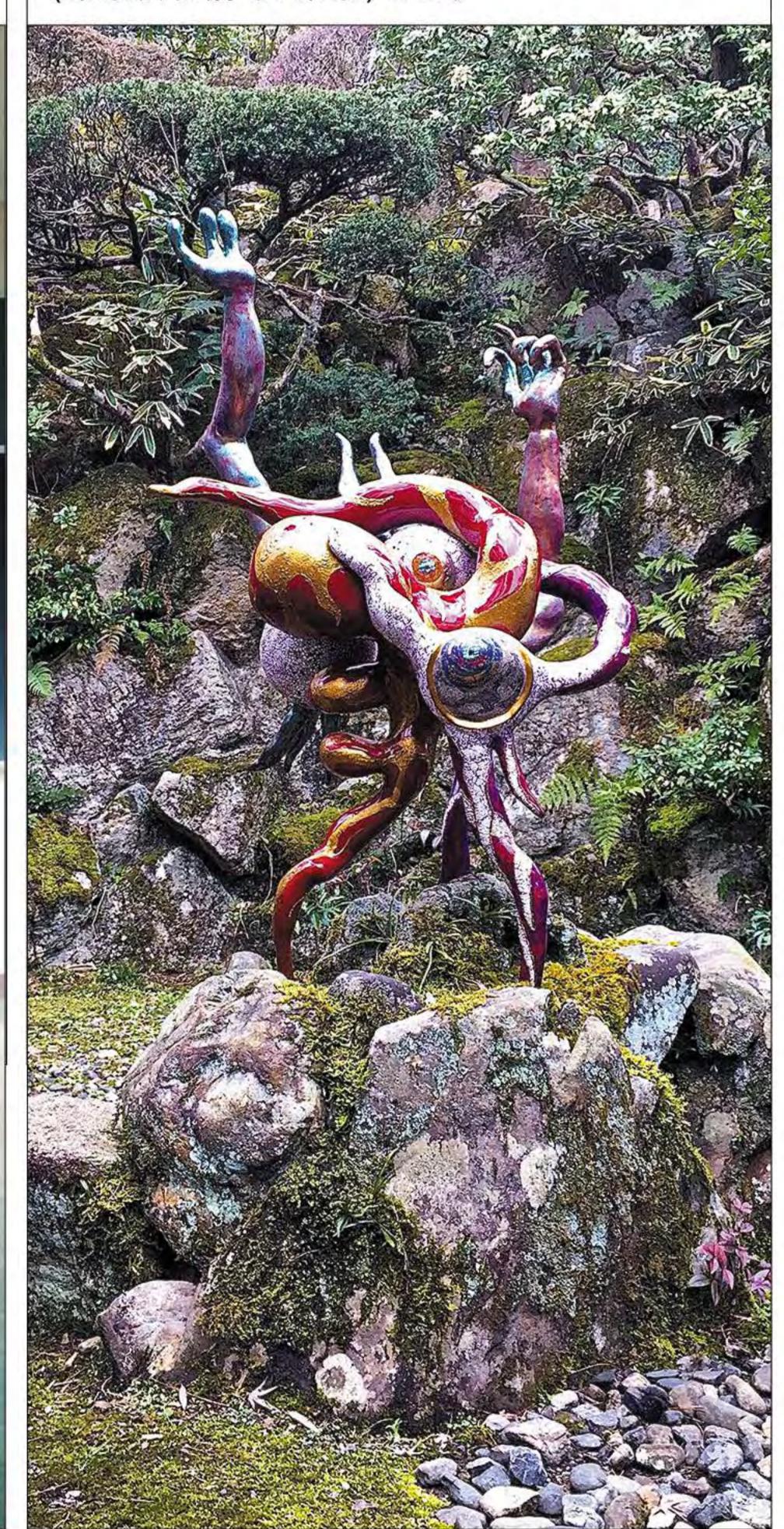
1989年奈良県生まれ。京都市立芸術大学大 学院修士課程美術研究科絵画専攻日本画在籍。 主な展示に2018年「Prologue IX」(GAL LERY ART POINT、東京)、2018年「第 4回石本正日本画大賞展 」(石正美術館/島 根)など。主な受賞歴に2017年「シェル美 術賞2017]入選、2018年「ワンダーシー ド2018] 入選、「臥龍桜日本画大賞展」入 選、2019年「第37回上野の森美術館大賞展」 入選(賞候補)など。

1995年奈良県生まれ。京都市立芸術大学大 学院修士課程美術研究科絵画領域日本画在籍。 主なグループ展に2019年「暗黙知の技術」 (Fab cafe, MTRL Kyoto/京都)個展に20-17年「ひそひそ彫刻のむくい」(Art Spot Korin / 京都)、また主な受賞歴に2018年 「シェル美術賞2018」入選、「臥龍桜日本 画大賞展」入選、「はるひ絵画トリエンナー レ」優秀賞、「京都市立芸術大学作品 201 7 」市長賞。マンガ冊子「おばけの連判状」 の発刊にも参加している。

1994年奈良生まれ。 滋賀育ち京都市立芸術 大学大学院修士課程美術研究科工芸専攻漆工 在籍。主な受賞歴に2017年「国際瀧冨士美 術賞 」優秀賞受賞・2018年「京都市立芸術 大学卒業作品展」市長賞、「池袋アートギャ ザリング」奨励賞。主な展示に2018年「輪 島漆芸美術館・漆芸の未来を拓く、生新の時 2018」(輪島漆芸美術館/石川県)、「アジア 漆工交流プログラムinカンボジア」(Angkor -Artwork/カンボジア)2019年「Scenes 2019」(GALLERY ART POINT、東京)、 「池袋アートギャザリングSELECTION展」 (東京芸術劇場/東京)など。







たとえばここに飾るとして

DATE: 2019 年9 月23 日 (月) ~ 10 月6 日 (日) PLACE: 米原市醒井宿資料館(滋賀県米原市醒井)

>MAIN □旧醒井郵便局局舎(国登録有形文化財)〒521-0035 滋賀県米原市醒井592 〒521-0035 滋賀県米原市醒井123 □旧醒井宿問屋場(市指定文化財) 月曜日休館(※月曜日が休日の場合は、翌日休館) 9:00 ~ 17:00 (入館16:30 まで)

(TEL: 0749-54-2163)

ADMIDDION:大人200 円(20 人以上の団体料金160 円)

小中学生100円(20人以上の団体料金80円) https://www.shigabunka.net/archives/192

EVENT:棒立ちのライブツアー

>第一回 9月29日(日)14:00~15:00 >第二回 10月 6 日 (日) 14:00~15:00



展覧会によせて

大槻拓矢、岡本秀、北浦雄大の三人から成るグループ「棒立ち」が、"飾る"をコンセプトに滋賀県米原市醒井(さめがい)で展覧会を行う。

本展の中心となる"飾る"という行為は、「ものを場に配置する」という動作からなり、日常的に誰もが行うものである。その行為はおよそどのような場でも出来る一方で、飾られるものの位置は、その場の持つ要素によりある程度規定される。

梁や柱に掛けたり棚に置いたり、あるいは置物の隣に並べたりと、飾られるものはそれが何であれ、既に場に存在するものに付加するかたちで置かれる。そうして飾られたものは、飾られている場に徐々に馴染んでいき、それ自身もまた、場を形作るいくつかの要素のうちのひとつとなる。"飾る"という行為において、主体は飾られている場の方なのだ。

それは作品を最もよく見える状態にしたり、あるいは空間そのものを作品化するような意味での"展示する"という行為とは異なる。"飾る"という行為において作品は特権化されることなく、場に寄り添うことで日常の中に入り込む。ただそこにあって然るべきものになっていく。

これまで「棒立ち」は、開催地となる場に起因したパフォーマンスや作品展示を行ってきた。初めからそこにあった要素との関わりの中で、行為や設置物の意味が決定されていく。このことはまた、本展における大槻、岡本、北浦の作品においても同様である。大槻と岡本は日本画、北浦は漆工を主な表現媒体としているが、それぞれの作品は、飾られている場からの影響によって見え方が変貌しても構わないもの、場との相関関係において意味性を獲得するものとして扱われている。

開催地となる醒井は中山道の宿場町で、江戸時代以前から多くの人が行き交い賑わった場である。家の前に並べられたプランター、道沿いの看板、ショーウインドウに鎮座する人形、石碑や看板など、醒井は"飾る"という営為に溢れている。

本展では、このように何気なく行なわれている、ものを"飾る"行為を、現在の美術が行なっている"展示"行為とは全く違った形で、作品(もの)と場の両方を魅力的に展開していく手法として位置付ける。それにより、美術と、人々が何気なく行なっていることとを接続しようとするものである。

作品と場の関わり方を再考する私たちの試みを、是非ご覧頂きたい。



棒立ちのライブツアー

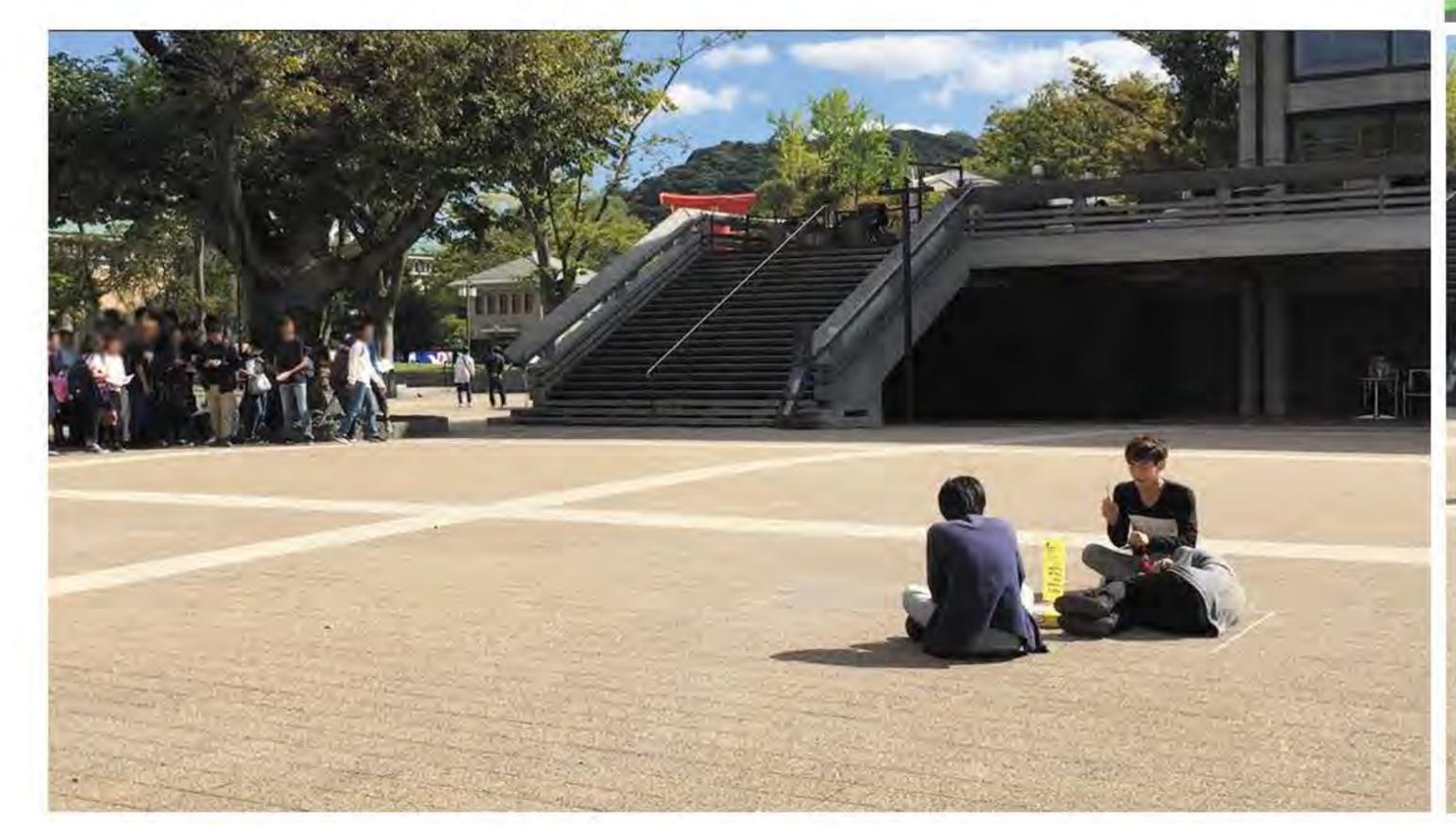
第一回 9.29(Sun) 14:00-15:00、第二回 10.6(Sun) 14:00-15:00

展示作品とともに、醒井の街並みを散策しながら、本展のテーマとなる"飾る"ことについてのツアーライブを行います。雨天の場合は、旧醒井宿問屋場にて醒井の街並みのチェキを元にツアーパフォーマンスを行います。

棒立ち

(ぼう-だち)

2015年、バンドとして結成。「僕らも棒立ち、 観客も棒立ち」をコンセプトにライブパフォーマンスを行う。主な発表に2017年「棒立ちのオペラ」(ロームシアター京都/京都)、「棒立ちのライブ」(ゼスト御池/京都)、主な展示に2018年「棒立ちのアーカイブ」(京都市立芸術大学/京都)などがある。







アクセス

[公共交通機関をご利用の場合]

JR醒ヶ井駅から徒歩約5分

(醒ヶ井駅まで:京都駅から東海道本線で米原駅まで行き、大垣方面に乗り換え。米原から各駅停車で一駅。)

[車でお越しの場合]

北陸自動車道米原ICより国道21号線を関ヶ原方面へ車で約5分

駐車場:市営醒ヶ井駅前駐車場(有料駐車場)

普通車:46台 営業時間:24時間

料金:入庫後30分まで無料、30分を超え2時間まで200円

会場情報/米原市醒井宿資料館

- ※ 1 旧醒井郵便局局舎(国登録有形文化財) 〒521-0035 滋賀県米原市醒井592
- ※2旧醒井宿問屋場(市指定文化財) 〒521-0035 滋賀県米原市醒井123

月曜日休館

(※月曜日が休日の場合は、翌日休館) 9:00 ~ 17:00 (入館16:30 まで) (TEL:0749-54-2163)





 $(\times 1)$

(%2)